

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年3月27日

計画の名称	北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)																																										
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)					交付対象	北九州市																																				
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化により陳腐化し利用率の低下した施設等に、適切な改良を加え有効活用するための整備を行い、既存施設の利便性向上を図る。 港湾施設の維持管理計画を策定し、計画的かつ適切な維持管理を図る。 臨港交通施設を整備することにより、安全で円滑な物流活動を確保する。 市民のニーズに応える魅力的な水際線づくりを進め、市民が気軽に港や海辺に親しみながら交流できる場を提供する 																																										
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 岸壁、物揚場等の係留施設の老朽化に対して適正な改良を加えることで、施設利用支障率を20% (H22) から15% (H26)へ削減 長寿命化計画策定率を100%とする <76% (H21d末) ⇒ 100% (H24d) > 臨港交通施設を整備することにより、安全に利用でき、物流の円滑化に資する道路等の延長を3,000m (H26d)増加 緑地の整備率(面積)を5%増加 <23% (H22d) ⇒ 28% (H26d) > 水際線を舞台とした市民交流機会(人数)を60%増加 <活動参加者数:2200人 (H21d) ⇒ 3500人 (H26d) > 																																										
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> <tr> <td>① 北九州港の係留施設(岸壁、物揚場等)の全施設に対する、利用に支障がでている施設の率を算出する。 (係留施設(岸壁・物揚場等)利用支障率) = (利用支障係留施設の数) / (係留施設の数) (%)</td> <td>20%</td> <td>17%</td> <td>15%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 長寿命化計画策定率を100%にする。 長寿命化計画策定率 = 評価年度における長寿命化計画策定施設数 / 長寿命化計画を策定する全施設数</td> <td>76%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 臨港交通施設の延長3,000m増加を目標とする。 臨港交通施設の増加延長 = 平成22年度から平成26年度までの整備目標延長</td> <td>0 m</td> <td>1,130 m</td> <td>3,000 m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 緑地の整備率(面積)5%増加を目標とする。 緑地面積増加率 = 計画期間の緑地整備面積 / 港湾計画上の緑地面積</td> <td>23%</td> <td>25%</td> <td>28%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤ 水際線を舞台としたイベントや清掃活動などの活動参加者数の増加 参加者増加率 = 平成20年度実績 から 平成21年度実績 の伸率</td> <td>2,200 人</td> <td>2,800 人</td> <td>3,500 人</td> <td></td> </tr> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	① 北九州港の係留施設(岸壁、物揚場等)の全施設に対する、利用に支障がでている施設の率を算出する。 (係留施設(岸壁・物揚場等)利用支障率) = (利用支障係留施設の数) / (係留施設の数) (%)	20%	17%	15%		② 長寿命化計画策定率を100%にする。 長寿命化計画策定率 = 評価年度における長寿命化計画策定施設数 / 長寿命化計画を策定する全施設数	76%	100%	100%		③ 臨港交通施設の延長3,000m増加を目標とする。 臨港交通施設の増加延長 = 平成22年度から平成26年度までの整備目標延長	0 m	1,130 m	3,000 m		④ 緑地の整備率(面積)5%増加を目標とする。 緑地面積増加率 = 計画期間の緑地整備面積 / 港湾計画上の緑地面積	23%	25%	28%		⑤ 水際線を舞台としたイベントや清掃活動などの活動参加者数の増加 参加者増加率 = 平成20年度実績 から 平成21年度実績 の伸率	2,200 人	2,800 人	3,500 人	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																							
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																																								
① 北九州港の係留施設(岸壁、物揚場等)の全施設に対する、利用に支障がでている施設の率を算出する。 (係留施設(岸壁・物揚場等)利用支障率) = (利用支障係留施設の数) / (係留施設の数) (%)	20%	17%	15%																																								
② 長寿命化計画策定率を100%にする。 長寿命化計画策定率 = 評価年度における長寿命化計画策定施設数 / 長寿命化計画を策定する全施設数	76%	100%	100%																																								
③ 臨港交通施設の延長3,000m増加を目標とする。 臨港交通施設の増加延長 = 平成22年度から平成26年度までの整備目標延長	0 m	1,130 m	3,000 m																																								
④ 緑地の整備率(面積)5%増加を目標とする。 緑地面積増加率 = 計画期間の緑地整備面積 / 港湾計画上の緑地面積	23%	25%	28%																																								
⑤ 水際線を舞台としたイベントや清掃活動などの活動参加者数の増加 参加者増加率 = 平成20年度実績 から 平成21年度実績 の伸率	2,200 人	2,800 人	3,500 人																																								
全体事業費(実施)	合計 (A+B+C)	2,937 百万円	A	2,917 百万円	B	0 百万円	C	20 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.7%																																
事後評価(中間評価)																																											
○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期																																											
事後評価(中間評価)の実施体制				事後評価(中間評価)の実施時期																																							
【実施体制】 北九州市港湾空港局整備保全部計画課が事後評価を実施				平成28年度																																							
【評価値の確認方法】 2名の学識経験者に意見聴取を実施				公表の方法																																							
				北九州市ホームページに掲載																																							
1. 交付対象事業の進捗状況																																											
交付対象事業																																											
A1 港湾事業																																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度) 上段:計画 下段:実施					全体事業費(百万円)		継続/完了	進捗状況		備考																						
											H22	H23	H24	H25	H26	計画	実施		着手済/全体	進捗度																							
1-A1-9	港湾	内地	北九州市	直接	-	国際拠点	維持管理	長寿命化計画策定	防波堤32件 橋梁10件、トンネル3件	北九州港						44	44	完了			元地域自主 H24地域自																						
1-A1-10	港湾	内地	北九州市	直接	-	国際拠点	改良	井ノ浦地区 航路(-4m) 改良	浚渫 V=140,000m ³	北九州港 井ノ浦地区						108	108	継続			元地域自主 H24地域自 統合①																						
1-A1-11	港湾	内地	北九州市	直接	-	国際拠点	改良	新門司地区 物揚場(-4m) 改良	エプロン打替 L=445m	北九州港 新門司地区						96	0				元地域自主 統合②																						
1-A1-12	港湾	内地	北九州市	直接	-	国際拠点	改良	新門司地区 浮桟橋 改良	浮桟橋1基	北九州港 新門司地区						120	0				元地域自主 統合③																						
1-A1-13	港湾	内地	北九州市	直接	-	国際拠点	改良	新門司地区 道路(A) 改良	道路改良 L=980m	北九州港 新門司地区						40	0				元地域自主 統合④																						
1-A1-14	港湾	内地	北九州市	直接	-	国際拠点	改良	太刀浦地区 道路(A) 改良	道路改良 L=1,630m	北九州港 太刀浦地区						30	0				元地域自主 統合④																						
1-A1-15	港湾	内地	北九州市	直接	-	国際拠点	改良	新門司北地区 岸壁(-8m) 改良	防衛施設の改良、エプロン打替 L=476m	北九州港 新門司北地区						49	87	完了			元地域自主 統合⑤																						
1-A1-16	港湾	内地	北九州市	直接	-	国際拠点	改良	新門司北地区 岸壁(-8m) 改良	防衛施設の改良、係船柱の新設、エプロン打替 L=238m	北九州港 新門司北地区						10	289	継続			元地域自主 統合①																						
1-A1-17	港湾	内地	北九州市	直接	-	国際拠点	改良	太刀浦地区 岸壁(-10m) 改良	上部工の全面改良 L=555m	北九州港 太刀浦地区						158	70	完了			元地域自主 統合⑤																						
1-A1-18	港湾	内地	北九州市	直接	-	国際拠点	改良	太刀浦地区 岸壁(-4.5m)(B) 改良	エプロン打替 L=60m	北九州港 太刀浦地区						30	0				元地域自主 統合⑥																						
1-A1-19	港湾	内地	北九州市	直接	-	国際拠点	改良	太刀浦地区 岸壁(-4.5m)(C) 改良	エプロン打替 L=120m	北九州港 太刀浦地区						47	49	完了			元地域自主 統合⑥																						

事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)		継続/完了	進捗状況		備考
										上段:計画	下段:実施	計画	実施	計画	実施	着手済/全体		進捗度		
1-A1-20	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	太刀浦地区 岸壁(-10m) 改良	エプロン打替 L=185m	北九州港 太刀浦地区	H22	H23	H24	H25	H26	87	82	完了		元地域自主 統合⑥
1-A1-21	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	田野浦地区 物揚場(-4m) 改良	エプロン打替 L=186m	北九州港 田野浦地区						48	0			元地域自主 統合⑥
1-A1-22	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	田野浦地区 船揚場(-2m) 改良	船揚場改良 L=20m	北九州港 田野浦地区						1	0			元地域自主 統合⑦
1-A1-23	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	門司港レトロ地区 岸壁(-9m) 改良	エプロン打替、吸出防止 対策 L=345m	北九州港 門司港レトロ						52	0			元地域自主 統合⑧
1-A1-24	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	門司港レトロ地区 道路 改良	道路改良 L=200m	北九州港 門司港レトロ			——		54	60	完了		元地域自主 H24地域自 統合⑤
1-A1-25	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	西海岸地区 岸壁(-10m) 改良	エプロン打替、吸出防止 対策、係留施設改良、付 帯施設 L=857m	北九州港 西海岸地区					36	36	継続		元地域自主 H24地域自 統合⑤
1-A1-26	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	砂津地区 岸壁(-7.5m) 改良	防衛工・防舷材改良 L=200m	北九州港 砂津地区					——	70	0			元地域自主 統合⑨
1-A1-27	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	砂津地区 可動橋	可動橋 1橋	北九州港 砂津地区					——	130	0			元地域自主 統合⑨
1-A1-28	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	戸畑地区 岸壁(-6m) 改良	吸出防止対策 L=306m	北九州港 戸畑地区					——	33	0			元地域自主 統合⑩
1-A1-29	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	新川地区 岸壁(-9m) 改良	本体、上部工、エプロン 補修 L=350m	北九州港 新川地区					——	150	0			元地域自主 統合⑩
1-A1-30	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	松ヶ島地区 物揚場(-3m) 改良	物揚場改良 L=135m	北九州港 松ヶ島地区	——	——	——	——	267	211	継続		元地域自主 H24地域自 統合⑬
1-A1-31	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	黒崎地区 岸壁(-8m) 改良	吸出防止対策 L=232m	北九州港 黒崎地区					——	20	0			元地域自主 統合⑭
1-A1-32	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	黒崎地区 岸壁(-4.5m) 改良	吸出防止対策 L=310m	北九州港 黒崎地区					——	10	0			元地域自主 統合⑭
1-A1-33	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	黒崎地区 物揚場(-3m) 改良	吸出防止対策 L=391m	北九州港 黒崎地区					——	20	0			元地域自主 統合⑭
1-A1-34	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	堀川地区 岸壁(-5.5m) 改良	吸出防止対策 L=200m	北九州港 堀川地区					——	10	0			元地域自主 統合⑭
1-A1-35	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	堀川地区 道路護岸 改良	吸出防止対策 L=340m	北九州港 堀川地区					——	10	0			元地域自主 統合⑭
1-A1-36	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	二島地区 岸壁(-7.5m) 改良	鋼材の電気防食 L=130m	北九州港 二島地区					——	10	0			元地域自主 統合⑭
1-A1-37	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	北湊地区 岸壁(-5m) 改良	岸壁(-5m) L=128m	北九州港 北湊地区					——	36	0			元地域自主 統合⑰
1-A1-38	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	北湊地区 物揚場(-3.5m) 改良	物揚場改良 L=250m	北九州港 北湊地区			——	——	——	20	16	継続		元地域自主 統合⑰
1-A1-39	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	北湊地区 道路 改良	道路改良 L=380m	北九州港 北湊地区	——	——	——	——	147	166	完了		元地域自主 H24地域自 統合⑰
1-A1-40	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	北湊地区 航路護岸 改良	護岸改良 L=220m	北九州港 北湊地区	——	——				95	95	完了		元地域自主 統合⑱
1-A1-42	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	新門司地区 岸壁(-5.5m) 改良	上部工改良 L=181m	北九州港 新門司地区					——	20	0			元地域自主 統合22
1-A1-43	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	太刀浦地区 岸壁(-10m) 改良	上部工改良、エプロン打 替L=470m	北九州港 太刀浦地区	——	——	——			141	218	完了		元地域自主 統合22
1-A1-44	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	西海岸地区 物揚場(-2m) 改良	物揚場改良 L=29m	北九州港 西海岸地区	——	——	——	——		137	9	継続		元地域自主 統合23
1-A1-45	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	西海岸地区 物揚場(-3m) 改良	エプロン打替 L=113m	北九州港 西海岸地区					——	40	0			元地域自主 統合23
1-A1-46	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	西海岸地区 物揚場(-1.8m) 改良	エプロン打替 L=192m	北九州港 西海岸地区					——	10	0			元地域自主 統合23
1-A1-47	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	日明地区 岸壁(-11m) 改良	エプロン打替 L=220m	北九州港 日明地区					——	35	0			元地域自主 統合23
1-A1-48	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	日明地区 物揚場(-3m) 改良	物揚場改良 L=90m	北九州港 日明地区					——	20	0			元地域自主 統合23

33/65

51%

事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)		継続/完了	進捗状況		備考		
										上段:計画	下段:実施	計画	実施	計画	実施	着手済/全体		進捗度				
1-A1-49	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	二島地区 岸壁(-7.5m) 改良	エプロン打替 L=130m	北九州港 二島地区						12	0			元地域自主 統合23		
1-A1-50	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	二島地区 岸壁(-5.5m) 改良	エプロン打替 L=90m	北九州港 二島地区						8	0			元地域自主 統合23		
1-A1-51	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	堀川地区 岸壁(-5.5m) 改良	付属品の取替 L=180m	北九州港 堀川地区						13	0			元地域自主 統合23		
1-A1-52	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	太刀浦地区 道路① 改良	道路改良 L=2428m	北九州港 太刀浦地区						178	118	継続		元地域自主 H24地域自 統合24		
1-A1-53	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	響灘東地区 道路 改良	道路改良 L=5,670m	北九州港 響灘東地区						5	5	継続		元地域自主 統合24		
1-A1-55	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	戸畑地区 道路	道路改良 L=60m	北九州港 戸畑地区						195	187	完了		元地域自主 H24地域自 統合26		
1-A1-56	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	門司港レトロ地区 橋梁 改良	橋梁改良 L=89m	北九州港 門司港レトロ地区						30	0			元地域自主 統合⑤		
1-A1-57	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	戸畑地区 物揚場(-4m) 改良	物揚場改良 L=90m	北九州港 戸畑地区						17	17	継続		元地域自主 統合⑫		
1-A1-58	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	響灘東地区 橋梁 改良	橋梁改良 L=980m	北九州港 響灘東地区						11	11	継続		元地域自主 統合31		
1-A1-60	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	大里地区 防波堤	防波堤改良 L=30m	北九州港 大里地区						80	77	完了		元地域自主 H24地域自 統合25		
1-A1-61	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	松ヶ島地区 船だまり 改良	浚渫 V=16,500m ³	北九州港 松ヶ島地区						119	127	完了		元地域自主 H24地域自 統合①		
1-A1-62	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	洞海地区 航路(-8.5m)改良	体積 V=64,000m ³	北九州港 洞海地区						369	366	継続		元地域自主 H24地域自 統合27		
1-A1-63	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	太刀浦地区 岸壁(-12m) 改良	上部工改良、エプロン打替L=437m	北九州港 太刀浦地区						229	233	完了		元地域自主 H24地域自 統合22		
1-A1-64	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	門司港レトロ地区 緑地 改良	面積 A=0.1ha	北九州港 門司港レトロ地区						18	10	完了		元地域自主 統合⑤		
1-A1-65	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	西海岸地区 泊地(-10m) 改良	体積 V=25,000m ³	北九州港 西海岸地区						138	0			元地域自主 統合33		
1-A1-66	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	大里地区 船揚場 改良	船揚場(-2.0m) L=13m	北九州港 大里地区						21	23	完了		元地域自主 統合25		
1-A1-67	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	若松地区 物揚場(-2.5m) 改良	物揚場改良 L=154m	北九州港 若松地区						77	29	継続		元地域自主 統合29		
1-A1-68	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	建設	若松地区 防波堤	防波堤改良 L=40m	北九州港 若松地区						30	0			元地域自主 統合29		
1-A1-69	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	新門司北地区 岸壁(-8m) 改良	洗掘防止対策 L=714m	北九州港 新門司地区						161	12	完了		統合32		
1-A1-70	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	太刀浦地区 岸壁(-10m) 改良	エプロン打替 L=555m	北九州港 太刀浦地区						78	77	完了		統合⑥		
1-A1-71	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	太刀浦地区 道路② 改良	道路改良 L=1112m	北九州港 太刀浦地区						30	0			統合24		
1-A1-72	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	田野浦地区 橋梁 改良	橋梁改良 L=15m	北九州港 田野浦地区						6	6	継続		新規 統合24		
1-A1-73	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	西海岸地区 岸壁(-11m) 改良	岸壁改良、鋼材の電気防食 L=420m	北九州港 西海岸地区						9	0			新規 統合23		
1-A1-74	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	東田地区 緑地 改良	面積 A=2.4ha	北九州港 東田地区						3	6	継続		新規 統合8		
1-A1-75	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	砂津地区 岸壁(-7.5m) 改良	防衛工改良 L=200m	北九州港 砂津地区						78	58	完了		新規 統合9		
1-A1-76	港湾	内地	北九州市	直接	—	国際拠点	改良	戸畑地区 浮桟橋 改良	浮桟橋 1基	北九州港 戸畑地区						15	15	継続		新規 統合3		
											小計(港湾事業)											
											合計											
																4,370	2,917					
																4,370	2,917					

C 効果促進事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度) 上段:計画 下段:実施					全体事業費(百万円)		継続/完了	進捗状況		備考
										H22	H23	H24	H25	H26	計画	実施		着手済/全体	進捗度	
1-C1-11	調査	内地	北九州市	直接	—	調査設計	港湾施設改良のワークショップ開催	ワークショップ、改良工法検討	北九州港						120	0		1/6	17%	元地域自主
1-C1-12	施設整備	内地	北九州市	直接	—	防護柵等設置	フェンス設置	フェンス L=1,020m	北九州港新門司北地区					40	0		元地域自主			
1-C1-13	社会実験	内地	北九州市	直接	—	社会実験	環境に配慮した輸送モード推進への社会実験	モーダルシフトの推進、効果検証	北九州港新門司北地区					120	20	完了	元地域自主			
1-C1-15	活動支援	内地	北九州市	直接	—	ワークショップ	埠頭再編のためのワークショップ	再編計画検討	北九州港田野浦地区					10	0		元地域自主			
1-C1-16	活動支援	内地	北九州市	直接	—	ワークショップ	埠頭利用のためのワークショップ	利用計画検討	北九州港門司港レトロ地区					10	0		元地域自主			
1-C1-17	施設整備	内地	北九州市	直接	—	施設整備	歩道拡幅事業	野鳥観察WS、視点場の整備	北九州港堀川地区					31	0		元地域自主			
合計													331	20						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C1-11	港湾事業(1-A1-9)と一体的に実施することにより、施設の利便性の向上や施設の活用が図られる。	
1-C1-12	港湾事業(1-A1-15)(1-A1-16)と一体的にフェンスを設置することにより、利用者の安全を確保することが可能なる。	
1-C1-13	港湾事業(1-A1-15)(1-A1-16)と一体的に実施することにより、フェリーを利用した貨物輸送の集約化・効率化、CO2排出量や輸送コストの削減、フェリー岸壁の利用促進が期待できる。	
1-C1-15	港湾事業(1-A1-21)と一体的に再編計画について検討を行い、利便性の向上や機能強化を図る。	
1-C1-16	港湾事業(1-A1-23)と一体的に利用計画について検討を行い、利便性の向上を図る。	
1-C1-17	港湾事業(1-A1-35)と一体的に歩道の拡幅を行い、道路交通の安全な利用を促進する。	

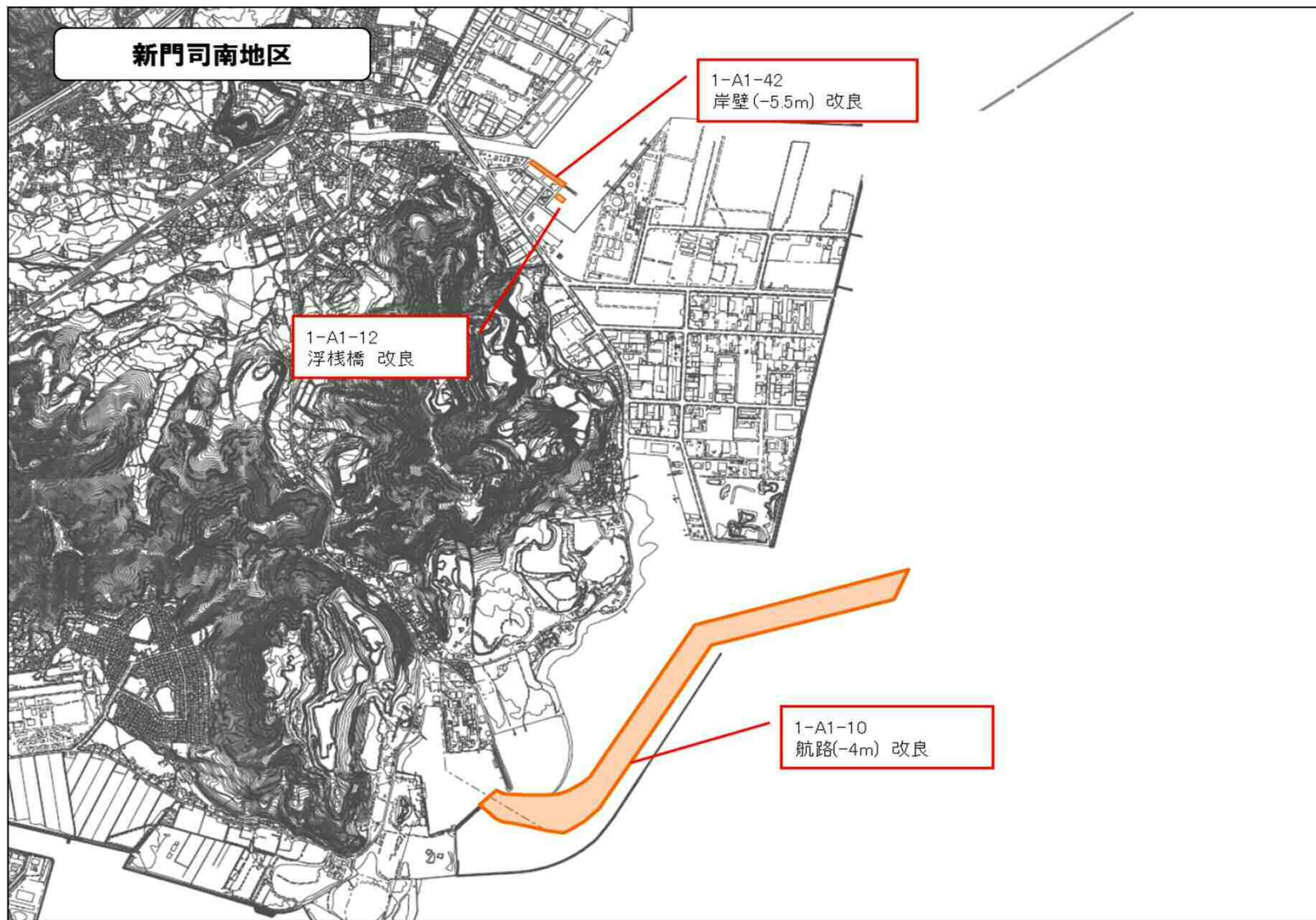
その他関連する事業												
事業種別		交付対象		要素となる事業名		全体事業費(百万円)		継続/完了	進捗状況		備考	
						計画	実施		着手済/全体	進捗度		
1-A' 1-1	港湾	北九州市		新門司北地区 道路整備事業		87	87	完了	10/11	91%	地域活性化	
1-A' 1-2	港湾	北九州市		日明地区 岸壁(-5.5m)整備事業		15	15	完了			地域活性化	
1-A' 1-3	港湾	北九州市		新門司北地区 東緑地整備事業		227	256	継続			地域活性化	
1-A' 1-4	港湾	北九州市		新門司北地区 緑地(C)整備事業		232	212	完了			地域活性化	
1-A' 1-5	港湾	北九州市		新門司北地区 北緑地整備事業		80	0				地域活性化	
1-A' 1-6	港湾	北九州市		門司港レトロ地区 緑地(大連上屋)整備事業		668	667	完了			地域活性化	
1-A' 1-7	港湾	北九州市		響灘東地区 北緑地整備事業		386	386	完了			地域活性化	
1-A' 1-8	港湾	北九州市		響灘東地区 南緑地整備事業		379	341	継続			地域活性化	
1-A' 1-41	港湾	北九州市		情報通信施設		9	9	完了			地域活性化	
1-A' 1-54	港湾	北九州市		響灘西地区 道路整備事業		245	211	継続			地域活性化	
1-A' 1-59	港湾	北九州市		響灘西地区 防波堤整備事業		197	171	継続	地域活性化			
関連事業A' 合計						2,525	2,355					

事業種別		交付対象		要素となる事業名		全体事業費(百万円)		継続/完了	進捗状況		備考
						計画	実施		着手済/全体	進捗度	
1-C' 1-1	施設整備	北九州市		案内情報板の整備		16	3	完了	5/13	38%	地域活性化
1-C' 1-2	施設整備	北九州市		連絡通路の整備		10	0				地域活性化
1-C' 1-3	活動支援	北九州市		施設の利活用・管理を考える市民ワークショップ		20	0				地域活性化
1-C' 1-4	施設整備	北九州市		案内情報板の整備		7	5	完了			地域活性化
1-C' 1-5	施設整備	北九州市		施設のバリアフリー化		80	0				地域活性化
1-C' 1-6	活動支援	北九州市		施設の利活用・管理を考える市民ワークショップ		7	0				地域活性化
1-C' 1-7	社会実験	北九州市		施設の利用促進に向けた社会実験		45	5	完了			地域活性化
1-C' 1-8	施設整備	北九州市		案内情報板の整備		11	1	完了			地域活性化
1-C' 1-9	活動支援	北九州市		施設の利活用・管理を考える市民ワークショップ		16	0				地域活性化
1-C' 1-10	社会実験	北九州市		施設の利用促進に向けた社会実験		11	0				地域活性化
1-C' 1-14	社会実験	北九州市		物流拠点化に向けた社会実験		20	0		地域活性化		
1-C' 1-18	社会実験	北九州市		物流拠点化に向けた社会実験		70	0		地域活性化		
1-C' 1-19	施設整備	北九州市		高度利用のための施設整備		67	52	完了	地域活性化		
関連事業C' 合計						380	66				

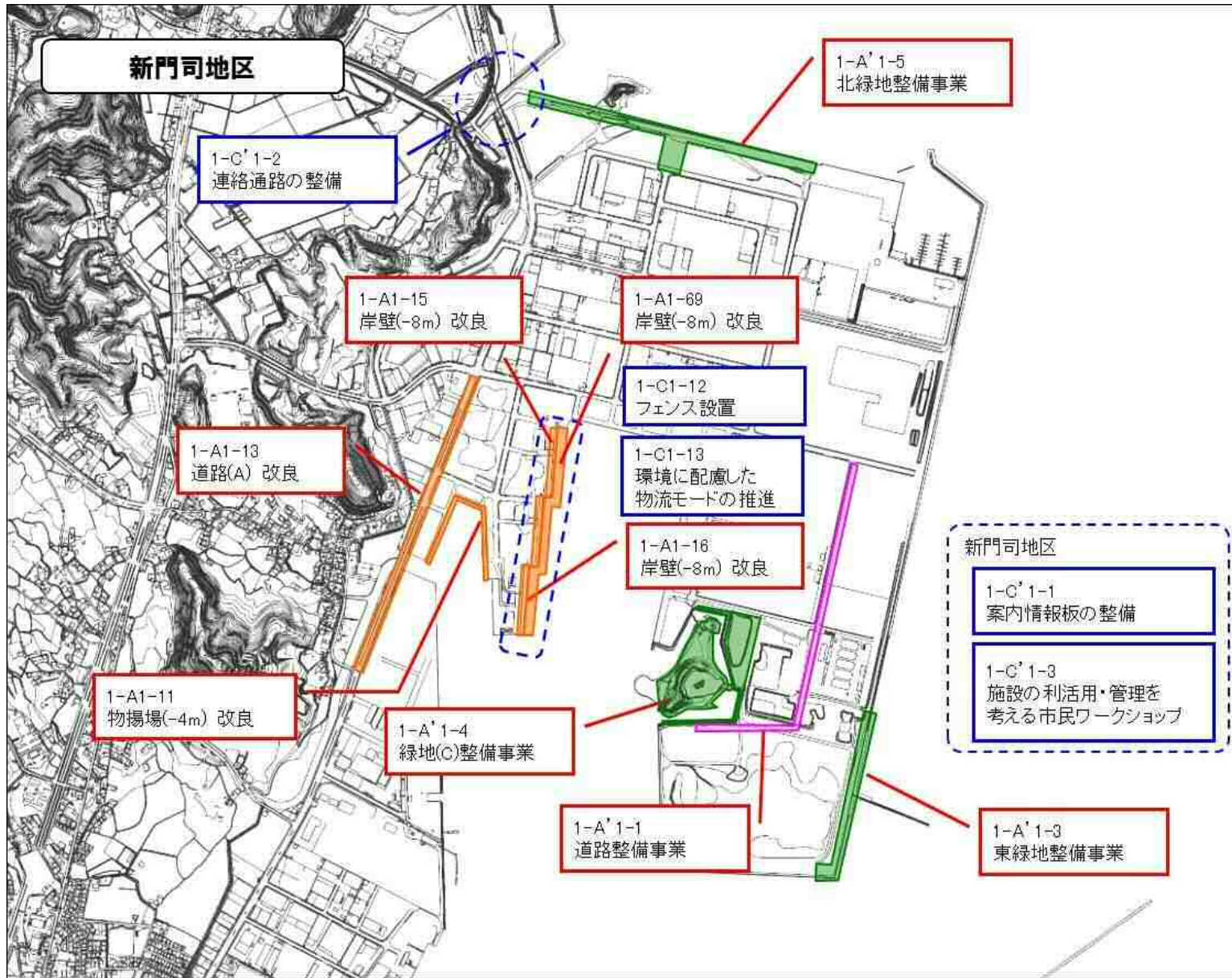
A' + B' + C'	2,421 百万円	A'	2,355 百万円	B'	0 百万円	C'	66 百万円	(C+C') / ((A+A')+(B+B')+(C+C'))	1.6%
--------------	-----------	----	-----------	----	-------	----	--------	---------------------------------	------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		指標① 係留施設の老朽化対策を実施することにより、施設利用者の安全性が確保され利便性が向上した。 指標② 対象となる港湾施設の維持管理計画策定により各施設の現況が把握でき、計画に基づいた適切な維持管理が可能となった。 指標③ 臨港道路の整備により、安全で円滑な物流が形成され利便性が向上した。 指標④⑤ 港湾緑地の整備により、魅力ある港湾空間が創出され来訪者が増加した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（係留施設（岸壁・物揚場等）利用支障率の削減）	最終目標値	15 %	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成
		最終実績値	15 %		
	指標②（長寿命化計画策定率）	最終目標値	100 %	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成
		最終実績値	100 %		
	指標③（臨港交通施設の増加延長）	最終目標値	3,000 m	目標値と実績値に差が出た要因	企業誘致のタイミング等による影響で目標延長は達成できなかったが、道路整備が完了したエリアにおいては、物流の円滑化・利便性向上が図れ、物流企業が進出するなど一定の成果を上げることができた。
		最終実績値	2,310 m		
	指標④（緑地面積の増加率）	最終目標値	28 %	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成
		最終実績値	29 %		
	指標⑤（水際線を舞台としたイベントや清掃活動などの参加者数の増加）	最終目標値	3,500 人	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成
		最終実績値	4,193 人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・新門司北地区において、フェリー岸壁の防衝工を改良することで、大型船の係留が可能となり海上輸送の効率化が図れた。 ・新門司北地区東緑地において、海岸高潮事業と一体的に緩衝緑地を整備したことで、高潮に対する防護機能強化が図れた。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、老朽化した係留施設や臨港交通施設等の改良を計画的に実施し、施設の延命化及び施設利用者の安全性・利便性の向上を図る。 ・今後も引き続き、安全で円滑な物流機能を確保するため、臨港交通施設等の整備を進める。また、魅力的な水際線づくりを促進し、市民が気軽に港や海辺に親しみながら交流できる場を提供する。 					

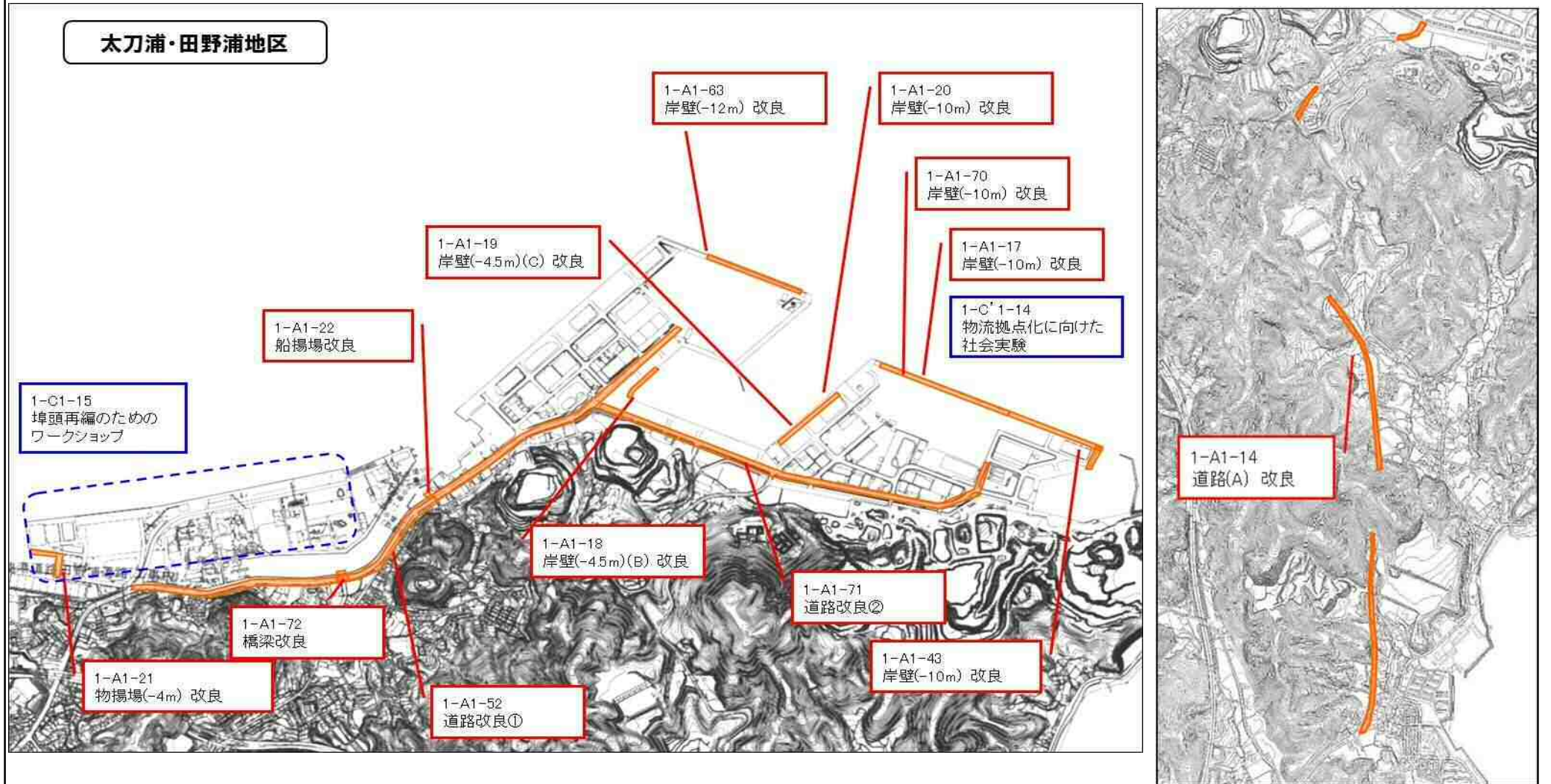
計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



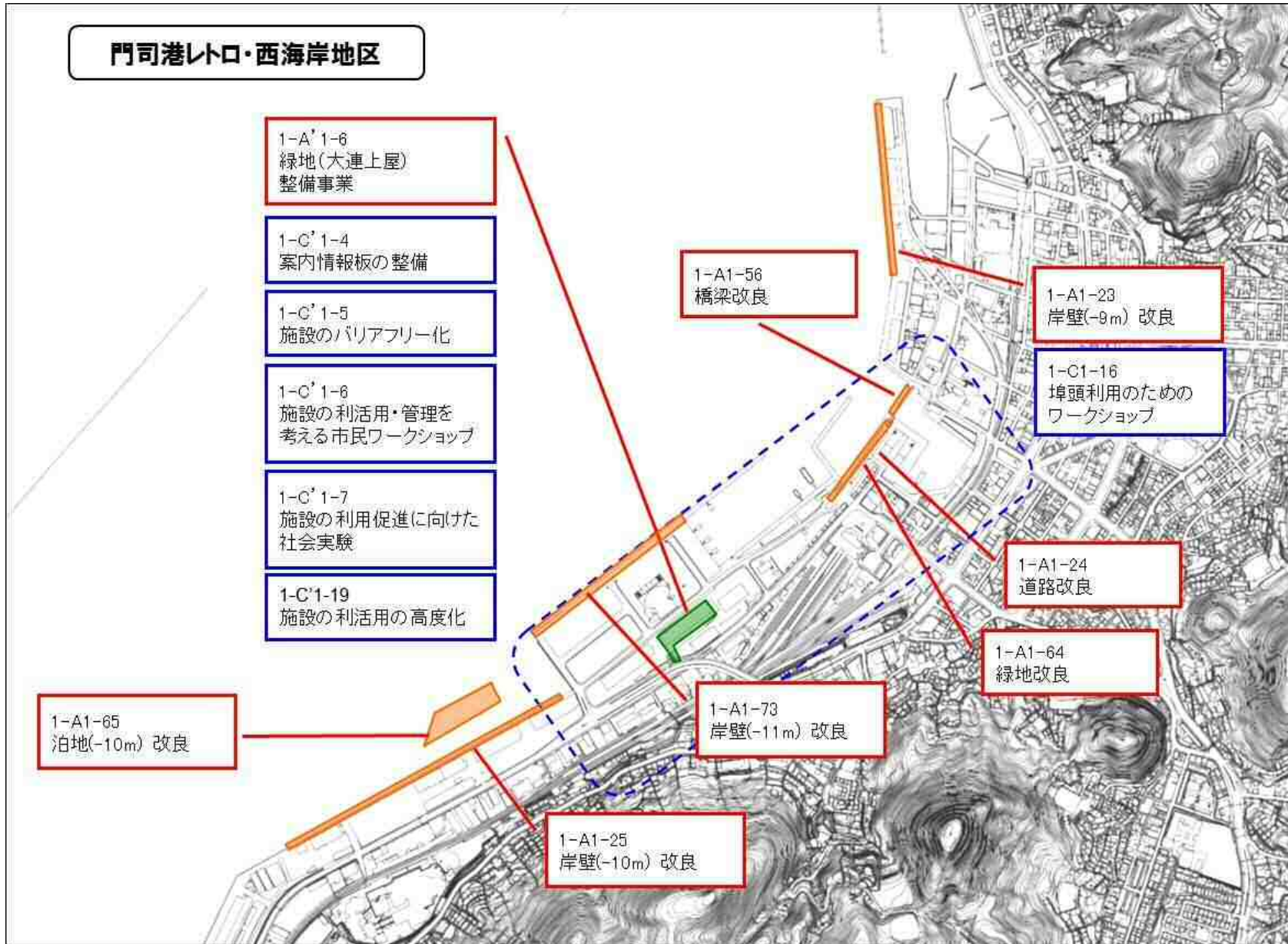
計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



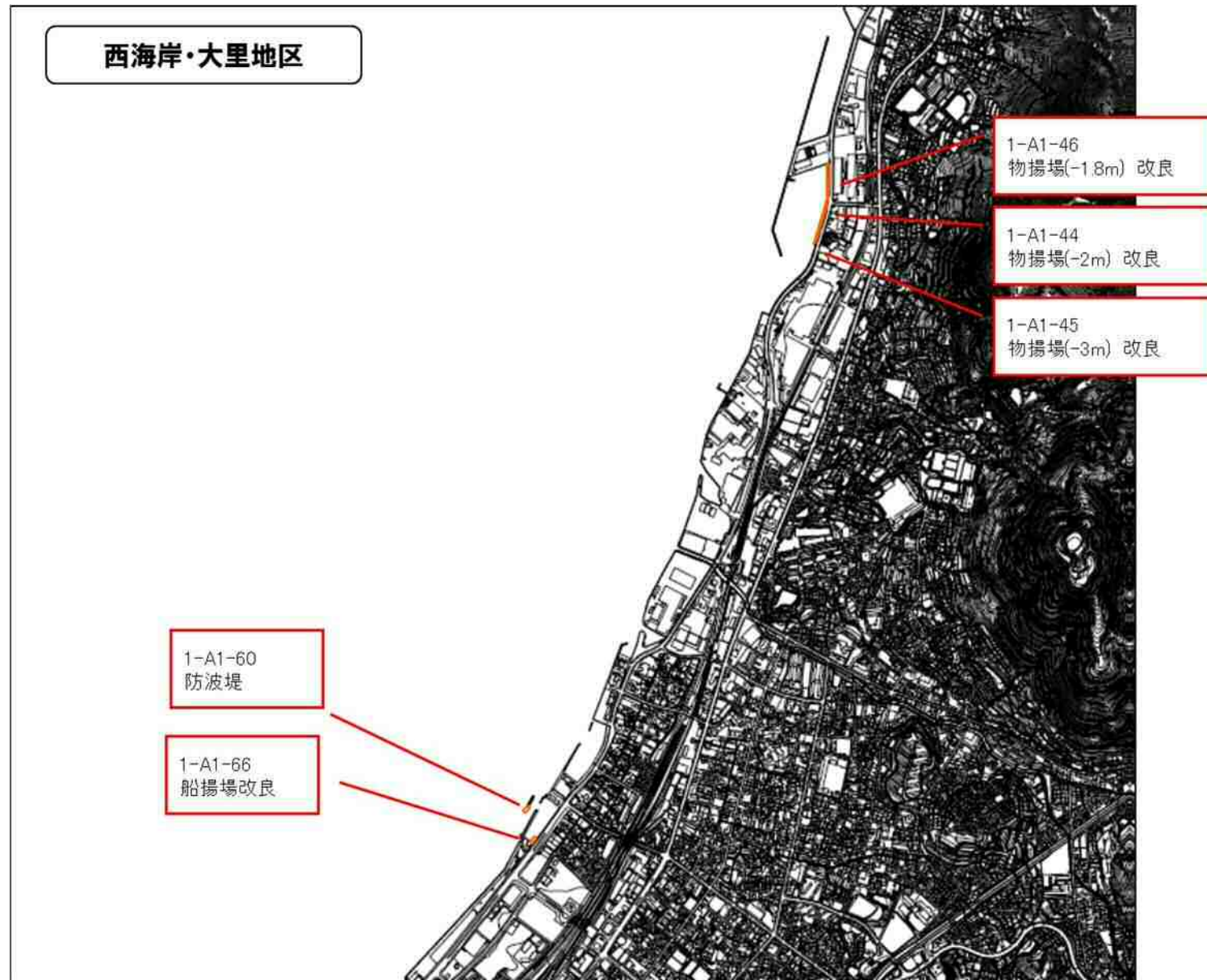
計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

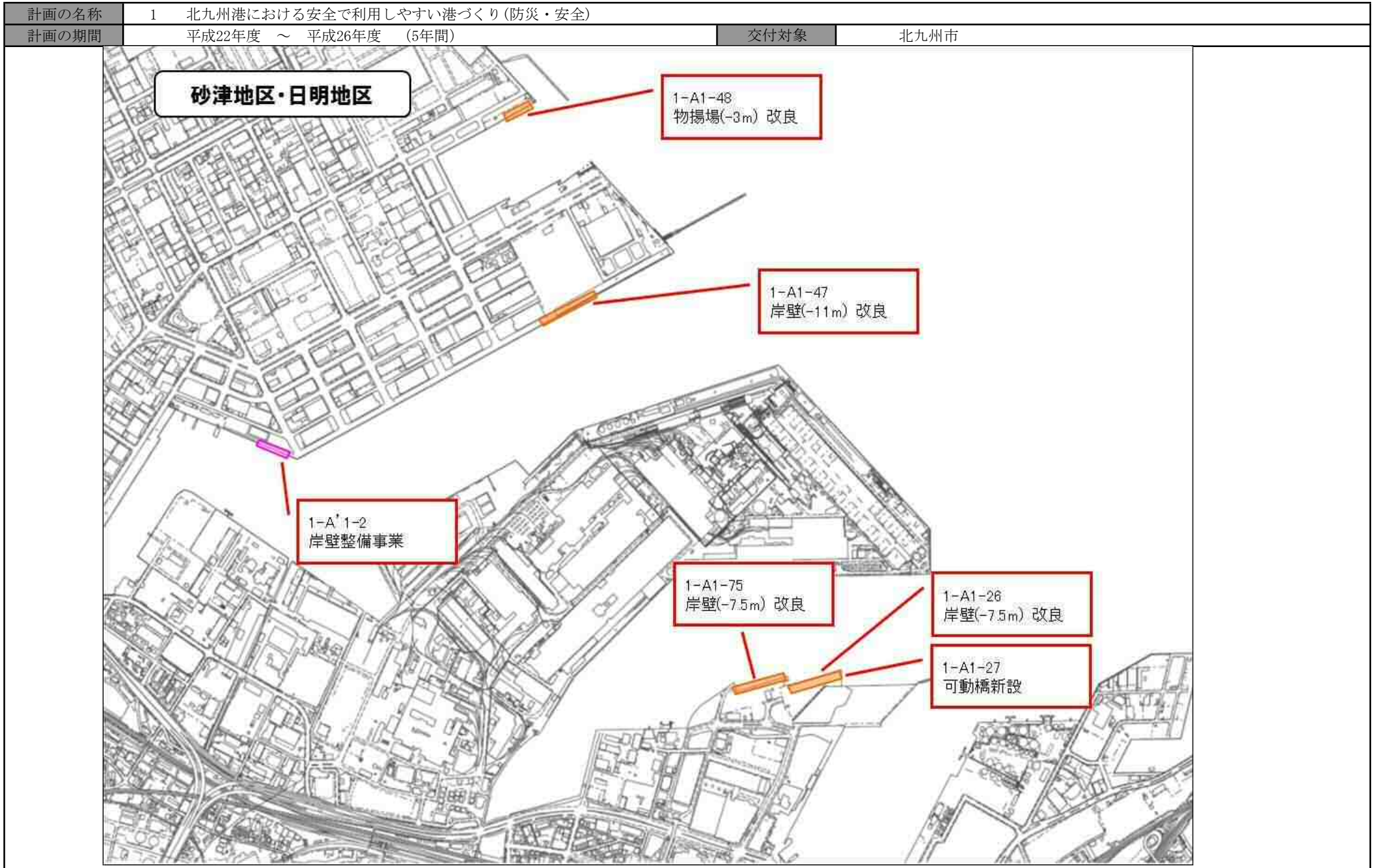


計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		





計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)		交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			



計画の名称	1 北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)	交付対象	北九州市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

